

【フェアトレードに対する批判の検討】

Transeed

Copyright © 2013 Transeed Group
All right reserved.
<http://transeed.jp>

トランシード・グループによるレポートは、企業や政府による人権侵害の情報を提供する目的で作成されています。

日本語での情報が限られる分野で、英語による文献、ウェブサイトを中心に参照し、新たな情報を提供することを目指しています。

フェアトレードは様々な角度から批判的に論じられています。[1]ここではフェアトレードに対する批判をまとめ、その妥当性を検討します。

・生産された全ての作物がフェアトレード製品として買い取られるわけではない[2]

Fairtrade International (FLO) は販売業者がフェアトレード認証製品を生産者から購入する際に、地域発展のための奨励金を上乗せして支払うことを義務づけています。また市場価格が極端に下落しても、生産者が生産活動を継続出来るだけの最低価格が保証されており、買取価格がそれを下回ることはありません。つまり販売業者としては例えフェアトレード条件を満たした製品でも、それが消費者に受け入れられるならば、フェアトレード認証製品としてではなく、普通の製品として普通の価格で買った方が得なのです。

この問題の原因は、フェアトレードの仕組み自体の問題ではありません。消費者の意識がかわりフェアトレード製品に対する需要が増えれば、より多くの生産者がフェアトレードに参加することで売上を増やすことができるようになります

・フェアトレードと認証された製品なのに実は「児童労働が使われている」、「環境を破壊している」など、フェアトレードの条件を満たしていないことがある

フェアトレード認証団体は生産者に対し、定期的に監査を行うことによって、製品がフェアトレードの条件を満たしているかチェックしています。

しかし残念なことに、監査で児童労働の使用が発見されたため、フェアトレード認証が取り上げられたこともあります。[3]フェアトレード認証団体は監査の強化と効率化のための、努力を続けていかなければいけません。

しかし不正の事例があったからといって、フェアトレードの仕組み自体が無意味なものにはなりません。一人の社員が不正を行ったからといって、その会社自体が社会的に無意味なものにならないのと同じことです。

・製品を市場価格以上の値段で買い取ると、市場に何らかの悪影響を与え損害が出る

FLOのフェアトレード認証製品は、市場価格がいくらに関わらず、最低買い取り価格以上で買い取らなければいけません。これに関して、いくつか誤解に基づいた批判があるようです。

例えば、「フェアトレード製品の生産者から市場価格より高く作物を買い取れば、彼らは作物を増産し市場での供給量が増えるだろう。結果として非フェアトレード製品の作物価格は下落し、フェアトレード以外の生産者の利益が減る」という批判があります。[4]

しかしそもそも、FLOが設定している最低買い取り価格は、作物の市場価格が大幅に下落するリスクを回避するために設定された価格であって、高収入を保証するものではありません。最低買い取り価格がカバーするのは生産のため使われたコストと市場への輸送費など、生産活動を続けていくために最低限必要なコストをカバーする価格です。そしてこの最低買い取り価格で作物が売り切れる保証もありません。

最低買い取り価格で作物を取引しているような状況では利益や売上量の増加が見込めず、生産者が増産をする理由がありません。つまり最低買い取り価格が供給量の増加につながるとは考えにくいといえます。

また「フェアトレード製品の生産者から市場価格より高く農作物を買い取れば、農民を農業に固執させ、他のもっと利益が見込める業種に労働力が移行するのを妨げる」という批判があります。[5]

上で述べたように、最低買い取り価格は生産を続ける手助けとなる価格であり、黒字を保証するものではありません。作物が最低買い取り価格で取引されているような状況で、もっと利益が見込める職業があるなら、生産者はそちらに移るでしょう。従って最低買い取り価格が労働力の効率的な分配を妨げるという批判は成立しません。そして農民が低い収入でも農業を続ける選択をするということは、現実的には他により大きな利益の見込める職がな

いことを示しています。

・フェアトレードによって、非フェアトレード製品の生産者の利益が減少する

仮にフェアトレード・コーヒーが売れるならば、フェアトレードでないコーヒーはその分売れず、その生産者の利益は減少するという主張です。

現在のところフェアトレード取引の市場の中での割合は高いとは言えず、非フェアトレード製品の価格への影響がそれほど高いとは言えません。[6]しかし将来的にフェアトレード取引の割合が増えれば、非フェアトレード製品の収益は減少するでしょう。

こういった状況を批判的に捉える必要はありません。それどころか、フェアトレード取引の拡大と従来の商取引の縮小はフェアトレードという活動・運動が目指すところです。

非フェアトレード製品の生産者の利益が減少するならば、その分フェアトレード製品の生産者の利益が増します。また非フェアトレード製品の生産における雇用が減るならば、その分フェアトレード製品の生産において雇用が増えるはずで、そして非フェアトレード製品の生産者は、フェアトレードに新たに参加することができます。市場の変革過程で一時的に、一部の生産者の利益が減ることがあっても市場全体としての利益が変わるわけではありません。

そしてフェアトレード取引の割合が増えればその分、生産者、労働者は人権が尊重される社会が実現することになります。

・フェアトレード認証製品の生産地域の中では経済的な格差がある。経済的に優位な国が利益を得ることで、より収入を必要としている経済的に劣った国の利益を減少させている。

フェアトレード認証製品は様々な国で生産されており、その中で経済的な格差があります。中南米の国々の国民一人当たりのGDP（国民総生産）は、概

してアフリカの国々のものより高いといえます。

仮に同じ金額が使われるなら、中南米産のフェアトレード製品を買うよりアフリカ産のフェアトレード製品を買ったほうが、より貧しい地域の経済発展に貢献できると言えるでしょう。

しかしフェアトレードは「人権を尊重した商取引」です。消費者が商品を選ぶ基準はその質と値段であり、それは地域の技術や気候、インフラや流通コストで変わります。中南米産とアフリカ産の同じ製品を比べて、中南米産の方が質が高く値段が安い場合、消費者は中南米産を選ぶことができます。また質や値段に妥協しても、アフリカの経済発展に協力したいという理由でアフリカ産の製品を選択するのも消費者の自由です。

どの国の、どのような製品を購入するかは（非フェアトレード製品も含め）消費者の選考の結果であり、フェアトレードの仕組みそれ自体が経済的に劣った国の利益を減少させているわけではありません。

また例え国の経済規模が比較的大きくても、極めて低い収入しか得られていないグループもあります。この意味でも、一概に国の経済規模だけが購入の基準になるわけではないと言えます。

・フェアトレードは生産者や労働者の抱える貧困を、必ずしも完全に解消するものではない

フェアトレード製品を生産しても、その製品が売れなければ生産者は収入を得ることはできません。また国が定めている法定最低賃金が労働者に支払われても、それが家族を養い、子供たちに教育を受けさせるのに常に十分とは限りません。

フェアトレードは全ての貧困を解決する魔法ではありません。しかし現状を、よりよい方向に向けることができます。

フェアトレード製品は法定最低賃金の補償、労働組合の組織化、はっきりと明文化された雇用契約、児童労働の禁止、環境への配慮、地域発展のための

プロジェクトなど、様々な基準に基づいて生産されています。こういったフェアトレード製品を買うことは、法律を遵守せず、非倫理的な操業を行う企業の製品を買うよりも、はるかに倫理的ではないでしょうか。

そしてこれからもフェアトレードは、より多くの人々の生活のために、様々な批判を受け入れ検討し、基準や試みを改善する努力を続けていかなければいけません。

-
1. 例えば以下のような批判がある。Marc Sidwell. (2008) UNFAIR TRADE. Adamm Smith Insutitute. http://www.adamsmith.org/sites/default/files/images/pdf/unfair_trade.pdf, Philip Booth. (2004) Is Trade Justice Just? Is Fair Trade Fair? IEA Discussion Paper No. 10. Institute of Economic Affairs. <http://www.iea.org.uk/sites/default/files/publications/files/upldbook353pdf.pdf>, Voting with Your Trolley. (2006) The Economist. <http://www.economist.com/node/8380592>
 2. FLO International Annual Report 2006/07. http://www.fairtrade.net/fileadmin/user_upload/content/Final_FLO_AR_2007_03.pdf フェアトレード認証製品（FLO）の生産者が販売する認証製品の量は、その全生産量の20%ほどと述べられている。
 3. BBC News – Panorama – Chocolate industry comments to Panorama. http://news.bbc.co.uk/panorama/hi/front_page/newsid_8584000/8584930.stm
 4. Voting with Your Trolley. (2006) p4
 5. Marc Sidwell. (2008) p13
 6. 例えば2011年のFLO認証済みコーヒーの売り上げ総量は88000トンでコーヒー市場全体の1% http://www.fairtrade.org.uk/includes/documents/cm_docs/2012/F/FT_Coffee_Report_May2012.pdf